



子供たちと学生との長期的な交流事業

京都府
宮津市

京都華頂大学・華頂短期大学
学生参画運営センター

【活動場所】

京都府宮津市

【活動目的・背景】

宮津市内で地域の子供活動に取り組むクラブや公民館から、「長期的に交流できるボランティア学生を探している」という情報が本学教員を通じて入ったため、地域の方々と相談しながら、「学生と遊んで楽しかった」というだけでなく、子供たちが「新しく知ること、学ぶことが楽しい」と実感できるような交流を実践しています。

【取組概要】

夏休み、冬休み、春休みをメインに、宮津市の吉津地区、養老地区を訪問し、人間知恵の輪やシャボン玉づくり、門松作りなどを子供たちと一緒に楽しんでいます。門松作りでは、「なぜ門松を飾るのか」や「おせち料理の意味」などについて学生が紙芝居を作って発表したり、交流後には、一人ひとりに手紙と写真を送って次回の交流につながるようになっています。

【成果・今後の課題】

参加している学生の多くが、将来は小学校や幼稚園の先生を目指しており、交流を通じて子供たちの様々な側面を直接感じ取ることができるとともに、地域の方々が子供たちの成長を見守り、支援することの大切さを学ぶことができる大変貴重な機会になっています。こうした交流を長く続けながら、多様な子育て、教育のあり方を学んでいきたいと考えています。



【本取組に関するお問合せ先】

学生参画運営センター

Tel : 075-551-1188 (代)

Fax : 075-551-1620

E-mail : soumu@kyotokacho-u.ac.jp

